

Google™

再配布権付き

# アドセンス5段階攻略法

初めの一步からの  
具体的な5ステップ説明付き、  
最強のアドセンス用  
XHTMLテンプレート！  
これで稼げなかったら  
もうネットビジネスは止めよう！

google アドセンスで収入を得る方法を、  
初心者向けに5段階で具体的に説明しました。

この方法は正攻法であり基本中の基本です。  
いくら時代が流れようとも不変的に使えます。

このレポートに書いてある方法で収入が得られたら、  
他の方にもぜひ教えてあげてください。

あなたがこのレポートの内容を書き変えない限り、  
再配布権利を差し上げます。

こんにちは、西です。

このレポートに記した事は、わたし自身が行って検証して来た事実に基づいて書いていますので、同じ事をしていただければ必ず善い結果が出ます。

具体的に説明して行きますので、面倒がらずに実行してください。

ちなみにわたしは下記のサイトと講座を運営しています。

興味がありましたら、ぜひ一度ご覧ください。

●ホームページ SOS

<http://simple.sub.jp/>

●IT笥会・ペラサイト講座

[http://simple.sub.jp/pera\\_top.htm](http://simple.sub.jp/pera_top.htm)

まず、ネットでもリアルでもビジネスの仕組みを構築する事は、ある意味大変な労力を必要とします。

そして、その大変さから逃げている間は、「簡単に出来る」と謳っている詐欺レポートに騙される可能性が高いです。

ですから覚悟を決めてこのレポートの方法を覚えてください。

また、このレポートによって直ぐに月に 100 万円も稼げるようにはなりません。

でも、書いてある通りに実行しながら覚えて行けば、必ずネットから収入を得られるようになります。

このレポートでは google アドセンスでアプローチする方法をお教えしますが、月 1 万円の壁を越えられたらあとは楽に続けられると思います。

さらに、アドセンスは通常のアフィリエイトと違って、広告をクリックされさえすれば安価ですが必ず報酬が発生します。

キャンセルと言うものではありません。

ですから安定したアクセスとクリックが得られれば、毎月、同じ程度の報酬が継続して発生します。

ある意味頑張りがいのあるほったらかしのビジネスモデルです。

まだ、アドセンスのアカウント(代理店資格)を取っていない方は、もう少し先で申請の仕方を説明しますので、アカウントを取ってください。

月に 1 万円のホームページが作れたら、後は毎月 1 万円が保証されたという事です。ですから、2 万円、3 万円を目指してページを量産したり、新たなテーマでホームページを作って行ってください。

楽しみでしょ？ では、頑張って覚えて実行してくださいね。^^

## 具体的な第 1 ステップ

### ●検索サイトで上位に表示させるホームページを作る

アドセンスは自分のホームページに広告を掲載し、その広告がクリックされ、広告出稿先のメーカーや販売店のホームページが開かれることで、報酬が発生するシステムですので、登録を申請する時にはホームページが無くてはなりません。

ということで、このレポートには検索エンジンに好まれる形で作った「SEO 対策済み」のテンプレートが付いています。

また、多くの人にホームページを見てもらうための一番手っ取り早い方法は、Yahoo!や google の検索ページに上位表示される事です。

そのためには「XHTML」を理解する必要がありますので、ちょっと長くなりますが下記を読んでください。

何故これから CSS と XHTML が必要不可欠なのかをご理解いただけたらと思います。

### ●XHTML とは

XHTML (eXtensible HyperText Markup Language) は、HTML を XML (eXtensible Markup Language) の仕様に返るように再定義したものです。

HTML と XML は共に SGML (Standard Generalised Markup Language) をベースとしていますが、XML が SGML の正統な後継者であるのに対し、HTML は SGML の亜流だと言うことです。

そこで、亜流の HTML を正統派の XML に従った形式に再定義したものが

XHTML です。

HTML が何故垂流なのかを説明しなければ、XHTML をお勧めする理由も分かっていただけないので、ちょっと複雑ですが SGML をおさらいしておきましょう。

## ●SGML が出発点

SGML とは、文書情報の「保存・交換」を標準的に行えるように、情報をタグを使って定義する方法で国際標準(ISO 8879)です。

SGML は文書の本質的な情報を、太字にしたり、色文字にするなどの見映えを指定する処理情報から分離し、文書内容を記述する方法を規定したものです。

SGML 文書では、タグを埋め込むことによって、例えば、<表題>、<引用部分>、<著者>のように、文書内容で意味をもつ部分にマーク付けし、文書の中で特別な意味をもっている要素を表現することが可能になっています。

さらに、WWW (World Wide Web) の文書の記述に使われている HTML は、SGML を基に設計・定義されています。

つまり、HTML は SGML の応用言語の 1 つで、SGML は HTML の親言語（メタ言語）ということです。

## ●HTML の現状

インターネットが一般化して来る中で、当然のこととしてビジネスが生まれて来ました。その最たるものがブラウザです。

みなさんがお使いの Internet Explorer や Netscape などが競って独自の HTML 用タグを発表し、HTML はその度にバージョンアップして来ましたが、その多くは見映えとしての表現力をアップさせるものばかりでした。

その結果 HTML は、同じタグでも「文書タグ」と見映えを形作る「構造タグ」の2種類が混在する、複雑怪奇なものに進化してしまったのです。

例えば、タイトルの文字を大きく表示させる場合、<h1>タグで括れば大きくなりますが、<font>タグでも大きくすることが可能です。

ブラウザ上では同じように見えるタイトルですが、音声認識ブラウザで読み上げた場合、<h1>は大見出しとして伝わりますが、<font>で大きくしただけの文字は他の文書と何等変わりがありません。

<h1>タグは「文書タグ」であり、<font>タグは見映えを形作る「構造タグ」なのです。

HTML の現状と落とし穴がご理解いただけましたでしょうか。

## ●CSS とは

しかし、今の HTML に慣れてしまったわたし達ですから、急に XML に戻ったとしたら、味気ないサイトしか作れないということになりかねません。

そこで、この2種類のタグを明確に分けながら、共存させる形が生まれてきました。

それが CSS (Cascading Style Sheets : カスケーディング・スタイルシート) で、CSS は HTML の「装飾部分・Style」を「設定する・Cascading」ための「文章 : Sheets」という意味で、見映えの部分のタグを統括します。

そして、統括したタグ類を、人間で言う頭の部分 <html>内に置いたり、外部にリンクさせて置くことで、<body>部分のタグを軽量化し、HTML 構文をシンプル化できます。

## ●CSS と XHTML が SEO 対策に効果的な訳

インターネットの情報開示の歴史と共に、言語の歴史をご説明しましたが、ご理解いただけたでしょうか。

ここからは、これからわたし達が行うべき情報開示の道についてお話しします。

まず、これからウェブサイトを作るなら、

●現状の HTML を、XHTML へ移行させる。

●HTML の利点である「見映えの良さ」を CSS で行う。

この2点は外すべきではないでしょう。

何故なら、検索エンジンの巡回ロボットは、複雑化した HTML より、文書構造がシンプルな XHTML を好むことは疑いの余地がないからです。

急にこのようなことを言われても戸惑う人が多いでしょう。

わたしは HTML を全否定しているのではなく、CSS を使って<body>を軽くする努力をして欲しいと思っているだけなのです。

## ●外部 CSS のメリット

ここで、外部 CSS のメリットを述べておきましょう。

外部 CSS にすると複数のページを1枚のスタイルシートで管理統括できるからです。

あなたがわたしのテンプレートでページを量産した後で、見映えの部分に修正が生じた時、内部<html>に CSS を埋め込んでいた場合には全てのページをなお

して行かなくてはなりません。

それが外部 CSS なら、1 枚のスタイルシートをなおしてあげるだけですむのです。

## ●巡回ロボットになってみると、SEO が垣間見える

今ここで目を瞑って「視覚の無いロボット」になってみてください。

あなたはきれいな絵や写真が見えません。まして、文字の大きさや色などの装飾も見えません。

認識できるのは、点字に相当する「単語・ keyword」情報だけです。

その世界で、今、訪れているサイトがどんなサイトなのか判別し採点しなくてはなりません。

<body>の部分には、どのような形式の文書があって欲しいですか？

複雑怪奇で迷路のような構文と文章でしょうか？

それとも、見出しを効果的に使ったシンプルな構文と文章でしょうか？

答えは・・・巡回ロボットを作ったのは、人間だということです。

サイト作成者がユーザビリティを持っているかどうか？

ロボットに血を通わせると対策が見えてきます。

## ●初心者だからこそテンプレートを使おう！

ここまでご説明したことは、気付いている上級者なら既に学び導入しているこ



とです。

でも、もしあなたが初心者であった場合、敷居が高い世界ですよ。

CSS も XHTML もこれからの常識となって行きますので、きっとホームページソフトで作れるようになるでしょうが、いつになるのかはまだ分かりません。

さらに、ソフトが対応したとしてもデザインまではしてくれないのです。

きっとテンプレートに興味のある人は、デザインを苦手に行っている人でしょう。

頑張って作ったホームページの出来上がりが、頭に描くイメージと違うのでは  
ありませんか？

アドセンスやアフィリエイトを導入するにしても、開いた瞬間の第一印象は非常に大事です。

開いたページを読み込むかどうかは、第一印象とキャッチコピーで決まってしまうと言われているので、あなたの思いを来訪者に受け取ってもらえるように、わたしのテンプレートを利用してみてください。

「文法チェッカー」で 100 点満点を取っていますので最強ですよ。^^

下記よりダウンロード出来ます。

●アドセンス用テンプレート

<http://simple.sub.jp/55temp.zip>

## ●テンプレートの書き換え方

まず、テンプレートに記事やアドセンスを入れて行くには、書き直すソフトが必要です。

お手持ちのホームページ作成ソフトで開けて、タグ領域があると使い勝手が良いのですが、ソフトをお持ちでなければ下記のテキストエディタでも可能です。

無料のソフトですのでダウンロードされてください。

### ●TeraPad

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/writing/se104390.html>

「TeraPad」はウィンドウズの方向けです。

マックの方は、「シンプルテキスト」というソフトが入っているはずですので、そちらで加工できます。

また、テンプレートを利用してホームページを作っても、インターネット上に公開しなくては誰にも見てもらえません。

ですので、インターネットには無料の公開スペース(サーバ)がありますので、まずはそこを利用しましょう。

### ●FC2

<http://id.fc2.com/>

アドセンスの報酬額が増えて来たら、有料のサーバとオリジナルドメインを取られることをお勧めしますが、今回のチャレンジは無料スペースで行います。

上記の「FC2」無料サービス内にサーバもありますので、サイト内の説明をよく読んで設定してください。

50代のわたしでも使いこなせますので大丈夫です。^^

では、ここからダウンロードしていただいたテンプレートの中の「sub.html」へ文章を書いて行く方法と、SEO対策としてキーワード等を書き入れる方法を説明します。

また、トップページ用の「index.html」は構成要素が同じですので、ここで覚えた方法を使って書き変えてください。

## Step.1 サイト情報の入力

### A “サイトの内容を記入”

現在入っている日本語「サイトの内容を記入」を削除して、このペラサイトの内容を要約して記入します。

Googleの場合は、ここに書き込んだ文章が説明文として拾われますので、しっかりキーワードを埋め込んでください。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
<html xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml" xml:lang="ja" lang="ja">
<!-- Copyright (C) 2008 HomepageSOS All Rights Reserved. http://simple.sub.jp/-->
</html>

<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS" />
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css" />
<meta name="description" content="サイトの内容を記入" />
<meta name="keywords" content="キーワード,キーワード,キーワード,キーワード" />
<link rel="stylesheet" href="style.css" type="text/css" />
<link rev="made" href="mailto:westworks@dream.com" />
<link rel="HELP" href="http://simple.sub.jp" />
<title>サイト名</title>
</head>
```

宣言部分

A

B

C

### B “キーワード”

検索する人が使うであろうキーワードを想定し、かつ、記事内で繰り返し使用したキーワードに書き直します。

キーワードとキーワードの間は、英数字のカンマ「 , 」を使用します。

## C “サイト名”

ブラウザの一番上部に表示されるサイト名です。

テーマに沿った複合キーワードを埋め込んだサイト名を考えてください。

## Step.2 タイトルバナー部分

### D “ここに複合キーワードでサイト名”

先程書き直した“サイト名”と同じです。

```
<body id="bodyid">
<div id="page">
<div id="page2">

<div id="banner">
<h1>ここに複合キーワードでサイト名</h1>
<p>ここにサイトの内容を35文字以内で記入</p>
</div>
```



### E “ここにサイトの内容を35文字以内で記入”

検索エンジンの Yahoo! の場合は、一番最初に拾われ易い部分なので、サイトの内容を端的に伝えるだけではなく、開きたくなるように「情報満載感」を盛り込んでください。

また、ここでも記事内で繰り返し使ったキーワードを埋め込んで書くことが望ましいです。

## Step.3 アドセンス広告コードの貼り込み

F <！――アドセンス・リンクユニット――>の下に

取得したアドセンス広告ユニットのコードをペーストして貼り込みます。

```
<div id="ad1">
スポンサードリンク
<!-- アドセンス・リンクユニット -->
</div>
```

F

## Step.4 記事タイトルと本文の書き替え

### G “キーワードを含んだ記事タイトルを記入”

記事のタイトルを書き替えます。

```
<div id="main">
<h2>キーワードを含んだ記事タイトルを記入</h2>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>

<h2>キーワードを含んだ記事タイトルを記入</h2>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>

<h2>キーワードを含んだ記事タイトルを記入</h2>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>
<p>ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。ここにキーワードを含んだ記事を書いてください。</p>
```

G

H

### H “ここにキーワードを含んだ記事を . . . . .”

この部分に現在入っている文字を削除して、本文を記入してください。

1つのセンテンス毎に<P>と</P>で括ってあります。

こうすることで、センテンス間の行間を半角分増やしてあります。

本文がもっと長いはずですので<P></P>をコピーして増やし、文字を入力してください。

※ <br>タグを使っての改行はしない方が無難です。

## Step.5 2回目のアドセンス

前述した「F」と同様にアドセンス広告ユニットのコードを貼り込みます。

```
<div id="ad2">  
スポンサードリンク  
<!-- アドセンス・広告ユニット -->  
</div>
```

## Step.6 相互リンク部分

```
<div class="footernavi">  
<ul>  
<li><a href="http://simple.sub.jp">リンク</a></li>  
<li><a href="http://simple.sub.jp">リンク</a></li>  
<li><a href="http://simple.sub.jp">リンク</a></li>  
<li><a href="http://simple.sub.jp">リンク</a></li>  
<li><a href="http://simple.sub.jp">リンク</a></li>  
</ul>  
</div>
```

J “<http://simple.sub.jp>”

相互リンクする相手の「URL」を記入します。

K “リンク”

相互リンクする相手の「サイト名」を記入します。

上記2項目は1つの相互リンクを行うソースとなります。

このテンプレートの相互リンク部分は、初期状態では5サイトとの相互リンクのフォーマットが設置されていますが、5サイト以上と相互リンクする場合は、

```
<li><a href="http://simple.sub.jp">リンク</a></li>
```

上記、1行をコピーして増やしてください。

相互リンクは何本増やしても、1段5本で折り返されます。

※テンプレートの書き替え時に間違って「英数小文字」を書き変えないでください。

書き変えるのは、現在説明として入っている日本語の部分のみです。  
もし、間違って崩してしまったら再度ダウンロードしてください。

## 具体的な第2ステップ

### ●アドセンス用のテーマを決める

あなたがFC2の無料スペースへアップするホームページは、どのような「テーマ」のものにしますか？

この第2ステップ「テーマ選び」が、今後のアドセンスの報酬額に影響して来るのですが、まずはご自分の得意分野でホームページを作る事をお勧めします。

自分の知っている事の方が文章にし易いので、「稼げるキーワードで」などと欲を出さずに今回は得意分野にしてください。

「テーマ」が決まったら、アドセンスに向いているかどうかをチェックしましょう。

あなたの決めた「テーマ」を google で検索してみてください。

●google

<http://www.google.co.jp/webhp?hl=ja>

どうですか？ 検索結果の右側に広告が表示されていますか？

多くの広告が表示されていれば、あなたの決めた「テーマ」でホームページを作ってもアドセンスが表示されます。

もしも、広告が表示されていなかったら、同じ意味の言葉や近い単語でも調べてみましょう。



必ず広告が表示されている「テーマ」を選んでくださいね。^^

テーマが決まったらホームページを作って行くのですが、50 ページ以上が望ましいです。

少ないと上位表示を維持する確率が下がって行きますので、頑張って 50 ページ以上のホームページにしてください。

また、得意分野の 50 ページ以上のホームページが作れたら、次は報酬狙いのサイトを作っていただいても結構です。

同じ行程で作れますので、どんどんサイトを量産してください。

アドセンスの報酬額は、単純に露出度が増えると報酬も上がります。

ですので、多くのページをインターネット上にアップして、検索サイトで上位表示させられるかが勝負の分かれ目となります。

テーマを決める時は、キーワードを 2 つ以上組み合わせた「複合キーワード」にして、検索結果が百万件以下のものを選びましょう。

その際、検索結果のページの右側に広告があるもの、と言う条件を忘れないでくださいね。

## 具体的な第3ステップ

### ●リライト(書き直し)を甘く見ない事

いくら得意分野と言っても、50 ページ以上のホームページを作るには、自分の持っている知識を膨らませるために、周辺情報を調べて書き加えて行かなくてはなりません。

その際、図書館などで情報を得て、手書きやコピーで情報を入手して来る分には、その後手打ちでリライトしながら入力して行くので良いのですが、インターネットで調べた場合、コピペして記事を使ってしまうくなります。

ですが、上位表示の最大の敵は「コピペの盗用」だということを肝に銘じてください。

後から同じ文字列の類似記事がアップされても、検索エンジンは必ず上位表示させません。

検索エンジンは同じテーマであっても、新鮮であろうと思われるページを上位へ持って来る傾向が強いので、あなたが調べた情報を新鮮な状態にしてアップしてやる必要があるのです。

それには、よく言われている「リライト」では難しいのです。

では、どう言うリライト方法が理想なのかを説明しましょう。

まず、インターネットや他で調べた情報を繰り返し読んで覚えます。

そして、記憶だけで書きます。これだけです。^^

この記憶している内容を文章化する作業は、自分の言葉になる確率が高いため、ベースとした情報や文章と文字列が必然的に変わります。

そうすると、検索エンジンは同じキーワードが含まれた文章でも、今まで無かった文章として「新鮮」だと判断するわけです。

この記憶を基にして書くことをしないで、どこかの記事の一部分を並べ替えたり、接続詞を変えたりしただけの文章には、必ず同じ文字列が存在する事になり、Yahoo!や google の検索サイトで上位表示はされません。

例え一時的にテンプレートの威力で上位表示されても、必ず落ちて行きます。

ですから、記事を書く部分で手を抜くと全てが水の泡になりますので、決してコピペベースの記事は書かないようにしましょう。

それと、もうひとつリライトする時に大事なことに「キーワード」の埋め込みがあります。

1 ページの中にどれくらいの頻度で同じキーワードが出て来るのか、この頻度が検索サイトの上位表示にも、記事内容にマッチしたアドセンス広告を表示させるためにも必要となります。

例えば「ラーメン」の記事を書いた時、その記事の中に「ラーメン」というキーワードがたくさん使われていれば検索エンジンも「ラーメンの記事だ」と認識できますが、色々書いて来て最後に「おいしいラーメンを食べた。」と結んでも、その記事が「ラーメン」の事を書きたかったとは判断出来ないのです。

ですから、自分ではちょっとしつこいかなと思う位、キーワードを埋め込む位で大丈夫なので、キーワードを意識して盛り込んでください。

## 具体的な第4ステップ

### ●ホームページを公開する

ホームページをたくさんの人に見てもらうための対策の一つに、検索エンジンへの登録があります。

Yahoo!や Google への登録はもちろん基本中の基本です。

#### ■Google にサイトを登録

<http://www.google.co.jp/addurl/?hl=ja&continue=/addurl>

#### ■Yahoo!にサイトを登録

<http://submit.search.yahoo.co.jp/add/request>

この登録作業は1ページ単位で行います。

よく勘違いされる事のひとつに、ホームページを完成させてからトップページだけを登録すると言うのがあります。

これは、ホームページを作る時に多少の勉強をすると思いますが、みなさんの多くが「タイトル = h1 タグ」で、「見出し = h2 タグ」と覚えてしまう事にあります。

トップページのタイトルに「h1 タグ」をひとつ使ったら、2ページ目以降のページ名を見出しとして「h2 タグ」に設定してしまうのです。

そして、トップページにアクセスを集めようとやっ気になる訳ですね。 ^^

このレポートに付いているテンプレートの下層用(sub.html)ページは、ページ名を「h1 タグ」にしてありますので、独立したページとして登録してください。

そうする事で、検索サイトに全ページをインデックスさせることが可能です。

全ページを入口としてユーザが訪れ、全てのページを巡回してもらえるようにリンクを貼っておく事で、アドセンスのクリック機会が増える事になります。

また、1ページを作り「google 登録ページ」から申請すると、早ければ即日、遅くとも 10 日くらいで google にはインデックス(認知)されます。

しかし、Yahoo!は google とアルゴリズム(検索用プログラム)が違うため、単純に登録申請してもインデックスされる確率が低くなります。

そこで、「Yahoo!ソーシャルブックマーク」に登録してフォローしてやります。

「Yahoo!ソーシャルブックマーク」は Yahoo!内にある無料サービスですので、そこに登録することで Yahoo!からの被リンクを得られます。

#### ■Yahoo!ブックマークへ登録する

<http://bookmarks.yahoo.co.jp/all>

さて、ここまでの行程を理解されて、20 ページ以上のホームページが作れたら、やっと google アドセンスのアカウントを申請します。

ちゃんとトップページを作って、下層ページをリンクで繋いで、ホームページの体裁を整えてくださいね。

#### ●Google アドセンスへ申請する

<https://www.google.com/adsense/login/ja/>

アドセンスの申請行程は、元が海外企業なのでちょっと分かりづらいかも知れませんが、じっくり取組めば必ず分かりますので、頑張ってみてください。

## 具体的な第5ステップ

### ●継続して上位に君臨するための必須項目

ここまでの4つのステップで、検索サイトに上位表示させる仕組み作りは完成しているのですが、インターネットの世界は日々新たな情報がアップされる流動した世界です。

もしかしたら、あなたがアップしているページよりも、上位表示される要因を満たしたページがアップされて、どんどん抜かされて行くかも知れません。

そこで、一々ページの内容を書き変えずに「強さを増す」方法に、「バックリンク(被リンク)を増やす」方法があります。

俗にいう「相互リンク」と言うヤツですね。

「リンク」は各ページを繋ぐ役割とは別に、検索エンジンの決め事から見ると「投票」を意味します。

外部からのリンクがあると「このページは良い情報なので繋がりたい」という意思を基にしたリンクが存在すると判断する訳です。

「このページに一票！」と見るのです。^^

ですから、ホームページ全体が仕上がっていなくても、ある程度ページ数をアップしたら、各ページ毎に相互リンクの依頼をして「外部リンク」を増やして行ってください。

テンプレートの最下部にページ毎にリンクが貼れるようにしてありますので、最強のページを維持してくださいね。

## まとめ

今回の「アドセンス用ホームページ」を成功させる要因をまとめておきます。

### 【上位表示】

- 書き易く、上位表示させ易いキーワードを選定する
- 必ずオリジナル文章にする
- キーワードの出現頻度を上げる
- Yahoo!japan と google に登録する
- Yahoo!japan ソーシャルブックマークへ登録する
- 相互リンクにより被リンク数を増やす

### 【クリック率】

- ターゲット層を想定して、ターゲットが受け入れ易い文章を書く
- ターゲットを情報収集から購買行動へ移行させる

上記を満たしたペラサイトを量産しましょう。

ここで、ちょっとわたしの講座の宣伝をさせてください。

今、「ペラサイト講座」と言うアドセンス用ペラサイトを量産する講座を行っています。

こちらでは毎週、テーマとなる「複合キーワード」を掲出し、受講生のみなさんが楽に上位表示を勝ち取れるようにしています。

定番のキーワードから、高単価の広告を含むキーワード、さらに旬なキーワードまで、毎週取組むキーワードが変わります。

そして、みなさんで記事をひとつずつ書き、提出された記事をリライト用のベース記事集として配布していますので、自分ではひとつの記事を書くだけで、記事提出者全員分の情報が手に入ります。

またペラサイトを量産するためにオリジナルツール「html maker」も用意しており、記事を下書きしてあれば 10 分程度でペラサイトを作る事ができます。

受講期間 3 カ月での目標は、ペラサイト 100 個(枚)を目指していただき、早い人なら受講期間内に月収 1 万円のベースを作られます。

さらに、相互協力を旨としていますので、受講生間で同テーマの最強の外部リンクも行えます。

一度 1 万円の壁をクリアすると、後は下がる事はありませんので、どんどんペラサイトを量産すれば収入が増えて行きます。

ネットビジネス、特に副業はパソコンの前で孤独に作業することが大前提です。

稼げるキーワードを探し、検索エンジンに強い xhtml 構文を作り、同テーマのサイト運営者に相互リンクを依頼しと、モチベーションを萎えさせる面倒な要因が多々あります。



その難しいと思う全ての行程を楽に行えるように、集団のパワーを効率良く取り入れた講座です。

「ペラサイト講座」は同じように頑張っている仲間がいますし、個人の疑問はみんなで解決し合っていますので、この環境を体験すると独りで作業する事も楽しくなります。

今まで受講された方の多くが、継続していらっしゃる事がその証しです。

ぜひ一度ご確認ください。

### **ＩＴ筍会・ペラサイト講座**

[http://simple.sub.jp/pera\\_top.htm](http://simple.sub.jp/pera_top.htm)

最後までおつき合いくださしまして、ありがとうございました。

あなたの副業生活が成功されますように祈っています。 ^^

西 佳宏

---

メインサイト「ホームページＳＯＳ」

<http://simple.sub.jp/>

メルマガ「ＩＴ筍会(超まじめ) 輝くネットライフをあなたに！」

<http://www.mag2.com/m/0000165179.html>

トップバナー無料作成システム「Banner ibos」

<http://ibos.simple-24.com/>

---